

(1)

会 報

緑のまち

第10号 平成4年10月21日

発行 財団法人 日野市環境緑化協会

〒191 東京都日野市神明1-12-1 日野市役所内
電話 0425(85)1111 内線265~7



日野中央公園（1980年4月開園）

市役所南側に位置し、市庁舎との一体化がはかられた明るい公園です。面積は、2.2ha。この公園には、ケヤキ、サクラ、雑木等の落葉樹、カシ、マテバシイなどの常緑樹、ハギ、アジサイなどの低木9000株が植栽され、四季の変化を楽しませてくれます。公園は、武蔵野の雑木林のイメージ、憩の場の芝ゾーン、滝と池が設けられたゾーンに分かれ、春は桜の花見でにぎわいます。

平成三年度事業報告

平成三年度事業も皆様方のご協力により、無事終了することができました。昨年は特に天候が不順で、春の苗木配布が雨で始まり、夏から秋にかけての長雨はすべての植物に悪影響を及ぼしました。このような中で、苦慮しつつも春と秋の緑化月間も盛大に行われ、特に菊花コンテストは、悪天候で出品が心配されましたが、熱心な方々の努力により、例年に劣らぬ好結果であったことは、喜びにたえません。

一、市民参加による緑化推進及び普及啓発事業

①四月、十一月の緑化月間中、家庭緑化、地域緑化に

秋には、駅前、公共施設等にプラントの設置ができ、今後は四季折々の花を提供していくつもりです。昨年度も四つの大きな事業を柱に実施いたしましたので報告します。

夏から秋にかけての長雨はすべての植物に悪影響を及ぼしました。このような中で、苦慮しつつも春と秋の緑化月間も盛大に行われ、特に菊花コンテストは、悪天候で出品が心配されましたが、熱心な方々の努力により、例年に劣らぬ好結果であったことは、喜びにたえません。

①四月、十一月の緑化月間中、家庭緑化、地域緑化に

春は、パンジー、チューリップ、夏はサルビア、日々草、マリーゴールド、秋は菊、冬は葉ぼたんを植栽し、道ゆく

①コミュニティ花壇の花弁植付事業は、自治会、老人会、子供会の皆さんの協力により年々充実し、四季折々に素晴らしい花が観賞できました。

②ポットマム・スプレー菊の配布は、今年から一人二本を四本に倍増し、配布を受けた方がより楽しめるよう配慮いたしました。

①四月、十一月の緑化月間中、家庭緑化、地域緑化に

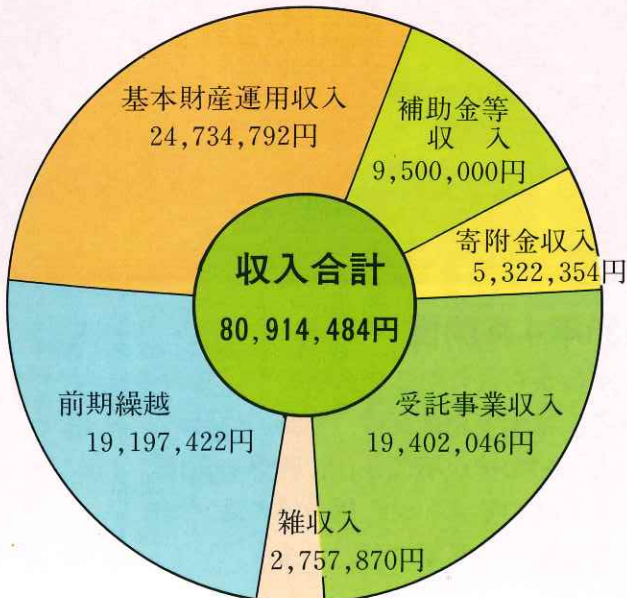
受託事業として、菊花事業、花卉植付事業、公園及びグリーンベルト等除草事業を実施いたしました。

①コミュニケーション花壇の花弁植付事業は、自治会、老人会、子供会の皆さんの協力により年々充実し、四季折々に素晴らしい花が観賞できました。

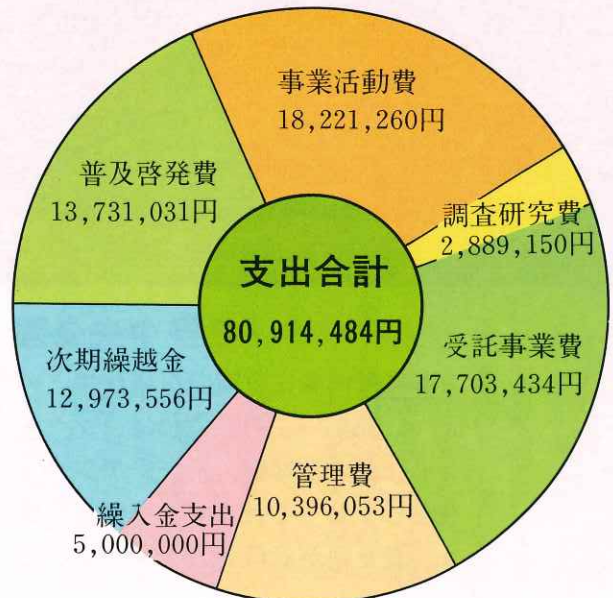
③緑の羽根募金活動は毎年、市と共催で実施しています。昨年度はバブル崩壊による業績悪化の中で懸念されましたが、協力者の理解も多く、前年を上回る大きな成果をあげることができました。

平成三年度収支決算

収入の部



支出の部



夏休み親子昆虫教室に参加して

日野市立日野第五小学校

四年 西村 康治

7月22日、ぼくとお母さんと弟で、親子昆虫教室に行きました。樹木にあつまる夏の昆虫のようすをスライドで見たり、矢島先生から昆虫にかかわるいろいろな話を聞ききました。たとえば、カブトムシの採集のしかたや飼育の方法を教わりました。

さっそく、ぼくは、家に帰って樹えきをつくったり、カブトムシの成虫は、クヌギやナラの木にあつまり、おもに夜、活動することがわかったので、夕方、野鳥公園やカブト公園につかまえに行きました。友だちが一びきつかまえました。また、水そうに、ふよう土やおがくず、太目の木をお父さんといっしょにじゅんびして、もらったカブトのオスとメスを入れました。そして、弟といっしょに、せわをすることにしました。えさは、すいかやメロンをあげました。しばらくすると、メスのすがたが見えないので心配していたら、交尾して、たまごをうんでいました。今は、幼虫になっています。成

虫になるのが楽しみです。

ほかに、「人間の体は、昆虫とどっちがうか」という話も、とてもおもしろかったです。昆虫教室に行つて、とても勉強になりました。来年も、ぜひ参加したいです。



日野市立日野第五小学校

三年 沢井 克仁

ぼくは、お母さんと友達といっしょに市民会館でやったこん虫教室に行きました。前に多ま動物園の園長さんだった人が、こん虫の書き方からおしえてくれました。いろいろななはなしもしてくれました。ぼくは、虫が大好きで、カ

自然のしくみ (3)

理事 矢島 稔

成長したホタルの幼虫が上陸するのは、春の夜の夜のことです。ぬれた岸を歩きながら土の湿りぐあいをしらべている幼虫は、適当な場所を見つけると、そこにもぐります。

地表から数センチのところまで幼虫は、体をまるめてぐるぐる回転しますと、そこに小さな部屋ができます。つぎに口から粘液を出し、内側の壁にぬりつけます。これが土にしみ込むと固くなって、丁度土でできているまゆのようになり、土窩どかができあがります。この粘液はくさいので、土の中の小さな生きものは

ブト虫やクワガタ、バッタをかっていました。エサや土のかえかたが、むずかしかったけど、はなしをきいて、とってもよくわかりました。帰りにカブト虫のオスとメスをもりました。お兄ちゃんといっしょに今でもたいせつにかつています。たまごをうんでよう虫になればいいなと、思っています。

近づこうとしません。つまり、動けない蛹の時代に他の生きものに食べられないためのはたらきもあるようです。

体をまるめた幼虫は、ここで一ヵ月以上もじっとしています。この「前蛹」とよばれる期間に、体の中では成虫になるための準備がすすめられていて、脱皮すると羽や長い脚をもった蛹になります。



すが三日目位に土をかき分けて地表に姿をあらわします。卵から一年かかって親のホタルになるまでには、今までお話ししたような生活

があるのです。そして成虫の寿命はオスが平均五日、メスは平均十二日という短いもので、成虫になってからは草の露しかのみません。あの美しい光は、オスとメスが互いに自分の存在を相手に伝えるために出す「言葉」です。ですから、光り方がいくつもあったって、ゆっくり光ったり、はやくピカピカやることもあります。

ところでホタルが自然界でどのように生きているかをお話しましたが、どうして必要なことは、①卵を産む日かげのコケ ②カワニナが繁殖できる流れ ③幼虫が上陸し蛹になれる岸 ④成虫がとびまわれる空間です。いい水はもちろん、岸も大切なのですが、時には水のことだけが注目されて、岸の土やコケのことが忘れられています。自然のしくみはいろいろなものがうまく組みあわさって出来ているのがホタルでもよくわかります。

はじめはうすいクリーム色をしている蛹は腹の発光器ができていて、刺激するとぼーっと光ります。五日ぐらいたると、複眼や脚が黒くなり、時々体を動かします。そして、十二日目位に脱皮して成虫になります。成虫ははじめ体がやわらかいので、じっとしていま

(おわり)

ご参加下さい!

~12月4日

くらしに花とうるおいを!

日野市
主催 (財)日野市環境緑化協会

11月は「秋の緑化月間」です。全市民による緑化推進を目指して、「家庭緑化の日」「地域緑化・清掃の日」をはじめ、さまざまなイベントを行います。今年も、球根の無料配布、菊花コンテスト、園芸講習会など楽しい催しを用意しております。
ぜひ、ご参加下さい。

家庭緑化の日(11月3日)

「家庭緑化の日」には、日野中央公園をはじめ、市内6カ所で球根の無料配布を行います。また、日野中央公園では園芸相談や苗木の即売会なども行い、皆様のおいでをお待ちしております。

※雨天決行

●球根無料配布

小学生以上の方にランキンユラス・スイセン・スカシユリの球根セットを先着順に配布します。

▽配布時間 午前10時から各会場。午後1時からは中央公園のみ。

▽会場・配布数 日野中央公園(午前千袋、午後700袋)、東京南農業協同組合七生支店(午前のみ500袋)、旭が丘中央公園・平山地区センター・市民の森スポーツ公園・第八小学校(午前のみ200袋)

●園芸相談

毎月行っている「花とみどりの健康相談」を、当日、日野中央公園で行います。園芸でお悩みの方は、この機会に相談下さい。

▽時間 午前10時~午後3時

●即売会

家庭で楽しめる苗木、花鉢、園芸資材などを日野市花丹生産組合、東京南農業協同組合が即売します。また、「新・日野の植物ガイドブック」や、市内の散策に便利な「日野市絵図」なども販売します。
会場は日野中央公園



●苗木配布

市の公園緑政課が家庭緑化の推進を図るため苗木を無料で先着500人(1世帯1本)に配布します。

▽配布時間 午前10時30分~11時30分 ※雨天決行

▽配布場所 日野市緑化センター(日野中央公園南側)

▽配布樹種 Mokusei・サザンカ・カルミア・カリンほか。

菊花展示会

※配布菊花コンテスト

8月に市民の皆さんに配布した苗、ポットマム、スプレー菊のコンテストです。
出来上りはともかく、一生懸命丹精した菊です。
「参加することに意義があり」この精神で参加しましょう。

▽期間 10月31日(土)~11月5日(木)

▽会場 市役所前市民プラザ
▽部門 市民一般(個人) 小学校(団体) 老人クラブ(団体)
▽表彰式 11月4日(水)午後2時から、市民プラザにて。

※古典菊、大菊の展示
中菊の肥後菊・嵯峨菊・江戸菊など100鉢を展示します。

▽日程 11月1日~27日
▽会場 市役所1階
市民ホールほか



自然観察会(11月8日)「ぶらり散策」

市内にも紅葉の美しい所は沢山あります。今回は七生丘陵西散策コースを選んでみました。野草を観察しながら、ゆく秋を楽しみましょう。
多数のご参加をお待ちしております。

▽集合場所 平山城址公園駅前、午前9時集合(雨天中止)

▽コース 平山城址公園駅~平山城址~程久保緑地~多摩動物公園駅(正午解散予定)

▽定員 先着50名
▽申込方法 電話で85-1111・内線265)

写真展

毎年力作ぞろいの「みどりの写真展」、今回のテーマは「日野の植物―うつり行く秋」です。市内の公園、並木、緑地など、緑のある生活と風景を季節の中にとらえて下さい。あなたの作品をぜひ出品してください。

▽展示期間 11月16日~12月4日

▽会場 市役所1階市民ホール

▽搬入 11月5日までに(財)日野市環境緑化協会へ ※詳細は募集要項をごらんください。

▽会場 市役所1階市民ホール

▽搬入 11月5日までに(財)日野市環境緑化協会へ ※詳細は募集要項をごらんください。

秋の緑化月間行事に

期間 平成4年11月1日

テーマ：まちに緑と清流を！



園芸講座 (庭木・生け垣)

庭木や生け垣は手をかけてあげるほど美しく保つことができます。当日は専門家の実技指導がありますので、日ごろ疑問に思っていることをこの機会にお尋ねください。ぜひご参加ください。

- ▽日時 11月20日午前10時～11時45分
- ▽会場 日野市緑化センター(日野中央公園南側)
- ▽講師 日野緑進会会員
- ▽定員 30人
- ▽申込み先 公園緑政課 6内線 362



親子炭焼き教室

秋空の下で親子で炭焼きを楽しんでみませんか。

昔は家庭暖房の主役であった木炭も、時代の波に押され今はほとんど使われなくなりました。しかし最近では昔をしのび、あちこちで炭焼きが勉強に取り入れられてきております。脱臭、土壌改良、浄化作用とその用途の広さも、見直されてきました。

- ▽日時 11月22日(日)午前10時～正午 ※雨天中止
- ▽会場 南平丘陵公園
- ▽定員 先着50名
- ▽講師 杉浦銀治氏
- ▽申込み先 日野市環境緑化協会 (☎日野市役所内線265)



地域緑化・清掃の日

11月29日は地域緑化・清掃の日とし、市内全域(公園、緑地、公共広場、道路等)で一斉清掃をします。

地域の公園、緑地、広場などには多くのゴミが落ちていきます。地域の公共物は皆さんのものです。地域の方の力できれいにしましょう。

- ▽清掃時間 午前9時～正午
- ▽参加者には、球根(1世帯1袋)を差し上げます。当日は自治会、老人会、子ども会等の指示に従ってください。



園芸講習会 (正月の寄せ植え)

毎年好評の「正月の寄せ植え」を今年も行います。松・竹・梅と鉢などの材料で、自分のセンスを生かして植え込んでみてください。正月には一足早い春が楽しめます。

- ▽日時 12月4日午前10時～正午と午後2時～4時の2回
- ▽会場 中央公民館
- ▽講師 武井完雄氏
- ▽定員 各回50人
- ▽費用 材料費千円
- ▽申込み 11月13日(必着) 往復ハガキに午前・午後明記のうえ(財)日野市環境緑化協会(〒191日野市神明1の12の1)へ。申込み多数の場合、抽選で決定します。

「花とみどりの健康相談」

協会では、毎月一回、みどりに関する相談日を設置、専門家が皆様の質問にお答えしておりますが、12月から3月までは電話で受け付け、後日、専門家がお答えします。ぜひ、ご利用下さい。

電話 85-11111 (内線265)

応募作文

私達からの提案

今年も、小学校6年生を対象に緑についての作文を募集したところ、各学校より806編の応募がありました。この中より、選考委員の方に10編を選んでいただき、今回5編を紹介します。作文はいずれも甲乙つけがたく、子供心に自然の大切さを切実に訴えているものが多く、先生方も胸をうたれたそうです。この作文のとりまとめにあたり、ご協力をいただきました各学校の諸先生方、選考委員の方々に厚くお礼申し上げます。

どんぐりの木よ

日野市立三沢台小学校

大竹 美緒

こんにちは。私は「どんぐりの木」です。日野市のどこかの公園に、一人で立っています。

ところで、最近、緑が減ったと思いませんか？。私はちょうど町が見下ろせる所に立っているのですが、このあいだも、少しばかりの空き地にコンクリートのビルが建ちました。私の目から見ると、緑のじゅうたんがはがされて、そこに灰色のブロックがでんと置かれた感じがします。

町を見わたしても、緑がありません。何だか心が落ちつきません。みなさんの中には知っている人がいるかもしれませんが、緑には人の

心を落ちつかせる効果があるんです。その緑がなくなると

ら、人間の心はどうなるのでしょうか。きっとせかせかした、ゆとりのない人間になるでしょうね。残念です。

でも、公園には緑がいっぱいあります。花だつて四季おりおりに咲き、木だつてたくさんあります。時々、地域の方が来てそうじをしてくれるのでゴミもあまり落ちていません。

しかし、私はどうしても緑を増やしたいのです。仲間をたくさん増やしたいと思うのです。そこで、人間のみなさんにお願います。秋になると私は、枝にどんぐりをたくさんつけます。地面に落ちたどんぐりを拾って下さい。何個でもいいです。そして、どこへでもいいから、とにかく土に浅くうめてやって下さい。あなたの庭でも、小さな鉢で

自然への思い

日野市立日野第七小学校

佐藤 真紀

私は小さいころから公園で遊ぶのが好きでした。それも、木や花、草がある公園です。保育園の時よく遊びに行きました。中央公園、緑地公園、駒形公園、黒川公園、第五公園、中でも好きな公園は黒川公園です。

黒川公園にはいくつか池があります。池には、たくさんのコイがいます。そして黒川公園の西側には、大きなあずまやがあります。そのあずまやは大きい池の真ん中に建っています。その池にもコイがいます。私はコイなどの魚が大好きで、黒川公園に行くときは、必ずスナック菓子やパ

も、公園のすみっこでもいいのです。ひと冬越したら芽が出てくるでしょう。その芽がぐんぐん伸びて、私のような大きな木になったら幸いです。みなさんが毎年これを実行してくれたら、町は緑でいっぱいになり、私はなんとうれしいことでしょう。今、私はそれを心待ちにしています。早くそうなる日が来てほしいと本当に願っています。

ンなども持つて行き、コイにあげました。

そのあずまやが建っている池のところから、小さい川が流れています。そしてその小さい川に、いくつかのきれいなわき水が流れこんでいきます。そのわき水が流れている所で友達とよく遊びました。くつをぬいでだしになって水の中に入りました。どこで水がわいているのかを見たくて奥の方まで行ったりもしました。寒くて水の中に入れないときは、そこら辺に生えている草で船を作つて、川に流して、だれのが一番速いかを、争ったりもしました。それから、川の途中にある大きな岩の上

で、木の実やヨウシュヤマブドウをすりつぶして、赤や紫色の木の実はるを川に流してたら、とてもきれいでした。私は、小さいころから、緑と自然が多い黒川公園が大好きです。他の公園もです。

中央公園なんかは、近いから、友達と自転車で行つて遊ぶこともあります。中央公園にも、木や花がたくさんあるし、広いからみんな遊べます。

シマリスと自然保護

日野市立滝合小学校

原田 若菜

私は、小学校一年生の時から、シマリスを飼っています。そのリスは、オスとメスの二匹で、ミンクルとポップと名前をつけました。お父さんは、お店に行って板きれやあみを買って来て、大きな小屋をつくりました。

初めて赤ちゃんを産んだのは、三年目の春で私が小学三年生になった四月でした。五



ひきも産まれました。お母さんリスのミシクルは、みんなにとでもなついでいて、人が赤ちゃんを見ても全然おこったりしませんでした。

それでもつとシマリスのことを知って、上手に育てたいと思って、「シマリスの冬ごし作戦」という本を買いました。作者は、川道美枝子さんという人で、北海道でシマリスを十五年くらいずっと観察して研究している人でした。

そのうち、川道さんが観察しているシマリスの住む森の樹が切りたおされるといふ問題が起きました。もし、ばっさいされたら、リスの住む所がなくなってしまう。冬眠するための地面の穴もなくなってしまう。小鳥やほかの動物たちも住めなくなってしまう。シマリスとミズナラの森を守る会」といふのができたと聞いたので、さっそく私の家族はみんなで会員になりました。

そして、「見守る会」が中心となって林野庁という所に木を切らないようにたのんだり、いろいろ努力してやっと今年の春ごろ、森が「特定鳥獣のための保護区」として、保護されることに決まりました。お母さんからニュースを聞いてとてもうれしかったで

す。
五年目の春は、日野市に引越しました。あんなに元気でなついていたミシクルが突然死んでしまいました。

やさしいお母さんリスのミシクルのことは今でもわすれません。リスをかったために森の大切さを知ることができました。

これからも自然を守ることに ついて、動物を守ることに ついて、家族やみんなで考えていきたいと思えます。



私たちのまわりの緑

日野市立程久保小学校

央 千佳子

私たちのまわりには、たくさんの緑があります。

私の家の裏には、多摩動物公園があり、それに続く南平方面の山は緑につつまれています。高幡不動の山も花と緑

自然あふれる町

日野市立日野第六小学校

渡辺 朝美

私は、反省しなくてはいけないと思っていることがあります。それは、自分の住んでいる、この日野市の自然に、興味、関心などをあまりもたなかったことです。日野市の花、キクは、今、自分の学校で、大きいものを育てているのでともかく、植物のことな

の散歩道です。

私たちにあって、土や緑はとても大切なものです。犬の散歩を見てもわかるように、コンクリートばりの道よりも土や草のはえた広場の方が犬もうれしそうです。

私たちの遊ぶ場所も、木かげのある広場が最適です。

私にとって一番身近な緑は学校の木や動物公園通りの桜並木です。

私たちの程久保小学校には「元氣の木」「本氣の木」「根氣の木」があり、私たち全員を毎日見守ってくれています。

学校の木や桜並木など、季節で感じを変える木々や、草花のさまざまな色につつまれていると、心が豊かになります。

どは、本当に苦手です。でも、私に通っている、日野第六小学校の緑はすごく好きです。春に咲く桜はとくに大好きです。二、三年の頃に落ちてくる花びらをキャッチして遊んだりするのも大好きでした。

私の家の前の道路には、桜の木が、たくさん並んでいて、春にはいつせいに咲き、とてもキレイです。でも、すぐに散ってしまうのが、すごく残念です。また来年の春、中学生になった頃、四中に行くと

高尾山などの山には、ふだん見ることのできない鳥や動物がたくさんいますが、それは山の自然と緑の豊富さにあると思えます。

私たちのまわりには緑がたくさんありますが、十年前から比べると緑の量は半分以下に減っています。

日野市ではブロックべいのかわりに生け垣にするように考えたり、緑を減らさないようにに努力をしています。これからは、私たちが残された緑を守り、育てていくことが大切だと思います。

日野の緑から日本の緑、世界の緑と、もっと緑に触れ、ふやしていくことが必要だと思います。

ちゆうに咲く、桜の木を早く見たいです。市役所の方へ行くとき、中央公園に、よく寄ります。その中央公園にも緑がいっぱいあり、幼稚園の時、あの辺に住んでいた私は、お母さんと、よく遊びに行きました。広がって、その中に、ギッシリつまっているような緑が今でも好きです。

日野市を緑と花でいっぱいにするには、日野に住む人たち一人一人の努力が大切だと思います。私も、そんなにいいことができるわけではありませんが、身近にある、植物ぐらいいなら、水をあげたり、大切に育てあげることが、いくらでもできると思えます。

私の友達に、自分の家で花を育て、教室にかざってくれる人がいます。そして、大事に、水をとりかえてあげたりしているところを見ると、「植物が好きなんだなあ」と、すぐわかります。みんながそんなふうになれば、この町は、自然があふれる、日本一の、緑の町として、有名になれるかも知れないな、と考えたことがあります。

自然は、私たちが住みよく、町を美しくしてくれるものだと思います。今よりも、もっと、緑や花が多く、美しい町ができるようにしたいです。

今熊公園

今熊サークル(会員8名)

鹿島台団地の北側、北野街道中間に位置し、小さい公園(500平方メートル程)ですが、団地の中央にあり、みんなの広場として大切にし、毎月2回の清掃を皆で楽しくしております。

公園は四季折々の顔を作り、春は新緑、花が咲き、秋は紅葉、小鳥のさえずり、本当に自分達の庭のような存在です。

この機会を大切にし、近隣の和を広げたいと思います。



地域の公園は 地域の人の手で



吹上公園

吹上自治会長 山崎 功氏

公園清掃は、当初(昭和46年)有志で行っていましたが、昭和50年頃より自治会に引き継がれ現在も続けられています。

清掃日には、皆率先して参加され、いつも70人くらい集ります。

面積二千二百平方メートル程のすばらしい公園で、協会からいただいた花を植えたり、草を取ったり、楽しく作業をしています。吹上公園は地域のコミュニケーションの場なので、大切な財産として次代に引き継ぎたいと思います。

平成4年新役員・評議員紹介

〈理事〉

〈順不同〉

- 中村 敏夫 (財)森林文化協会員
- 中川 英子 (日野市緑化推進委員)
- 小俣 雅義 (日野市建設部長)
- 矢島 稔 (財)東京動物園協会常任理事
- 窪田 之喜 (八王子合同法律事務所)
- 小寺 一郎 (高尾電鉄KK・会長)
- 片岡 尤二 (日野の自然を守る会事務局長)
- 高橋 英昭 (日野の自然を守る会会長)
- 黒田 桂子 (日野市環境緑化市民会議)
- 松田 雄孝 (日本女子大学講師・都市環境)
- 森田喜美男 (日野市長)
- 鈴木 榮弘 (日野市都市整備部長)

〈監事〉

- 真野 保 (日野市明るい社会をつくる会)
- 龍崎 和義 (日野市環境緑化市民会議)

〈評議員〉

- 一ノ瀬 隆 (日野市議会建設委員会)
- 小山 良悟 (日野市議会建設委員会)
- 沢田 研二 (日野市議会建設委員会)
- 米沢 照男 (日野市議会建設委員会)
- 篠野 行雄 (日野市議会建設委員会)
- 田原 茂 (日野市議会建設委員会)
- 高橋 徹 (日野市議会建設委員会)
- 柴崎 亮助 (日野市農業団体連合会)
- 小林 繁人 (日野市小中学校長会)
- 樋口 信夫 (日野市老人クラブ連合会)
- 吉富 正敏 (社)日野青年会議所
- 熊沢 政明 (日野市子ども会連合会)
- 西村セキエ (日野市環境緑化市民会議)
- 清水新一郎 (日野市環境緑化市民会議)
- 佐藤 才市 (日野市市民自治学園)
- 曾根フジ子 (日野市市民自治学園)
- 西沢 光 (株)東芝
- 下田 隆康 (コニカ株)
- 平田 敬一 (富士電機株)
- 源平 照雄 (日野自動車工業株)

「緑の羽根」募金結果のお知らせ

今年も市と共催で、緑の羽根募金運動(4月1日から5月31日まで)を実施いたしました。景気後退の厳しい状況にもかかわらず、市内自治会、老人クラブ、事業所等の皆様の緑化に対する深いご理解とご協力により、前年度を上回る成果をあげることができました。厚くお礼申し上げます。

▽募金総額 218万317円

▽内訳

自治会	83万7千127円
老人クラブ	18万381円
公立学校	4万1千194円
私立幼稚園・保育園	5万2千535円
団体・事業所	64万2千447円
街頭募金	29万9千859円
市役所機関	12万6千774円

この還元金は市内の緑化推進に役立たせていただきます。

環境問題の民間研究団体「LOVE THE EARTH 21」より、環境浄化チャリティーコンサートの収益金5万円を当協会へ寄附していただきました。心からお礼を申し上げますとともに、大切に使用させていただきます。

▽編集のあとに△

「緑のまち」は、この10号から紙面を改め、字も大きく、カラーになりました。読みやすくなったでしょうか。内容も皆様の声が反映するよう努力しておりますので、ご寄稿をお待ちしています。